

# 徳地アドベンチャー教育プログラム（TAP）指導者養成講習会

【目的】 「徳地アドベンチャー教育プログラム」（以下、TAP）の実習や講義を通して、チームビルド等の人間関係の構築や自己肯定感の向上を目的としたグループワークの指導者に求められる知識・技能を習得する。

また、本指導者養成事業は弊所の研修支援団体へのTAPの外部指導員の育成のカリキュラムの1つとし、外部指導員の確保も同時に目的としている。

【開催日】 令和6年2月10日（土）～2月12日（月・祝）

【参加者】 青少年教育施設指導者・大学生等 13名

【プログラムの内容】

10	10:00	12:00	13:30	17:00	19:00	21:00
日	セッション②	昼食	セッション②	夕食	セッション③	
11	9:00	12:00	13:00	17:00	19:00	21:00
日	朝食	セッション④	昼食	セッション⑤	夕食・入浴	セッション⑥
12	9:00	12:00	13:00	15:15		
日	朝食	セッション⑦	昼食	セッション⑧		

- セッション①～④：アイスブレイク、ウォームアップ、イニシアティブ、ローエレメント等
- セッション⑤～⑧：以下のことを講義と演習により習得する
  - ・体験学習サイクルなどの考え方
  - ・ローエレメントの基本的ルール・使い方
  - ・アクティビティの分類と特性
  - ・グループを見る視点
  - ・プログラムの組み立て

## セッション①②



13名の参加があり、午前中はアイスブレイクを中心にTAPを体験しました。午後からはイニシアティブ・ローエレメントを体験しました。



## セッション④



セッション④はコミュニケーションから信頼（トラスト）を意識した体験をしました。講習会前半の体験を終え、参加者はグループからチームとなり、集団として後半の理論を学びあうための準備ができました。

## セッション⑤⑥



セッション⑤⑥では、指導者（ファシリテーター）としてどのような考えの元、指導に当たるのかを学びました。

## セッション⑦⑧



セッション⑦⑧では、ここまで学んだことを使って、実際に指導することを前提に、自分でアクティビティを組み立てました。その後、発表しお互いにフィードバックしました。

### 【参加者の声】

- ・自分たちの意見を十分に反映させて作ったシーケンスを元に、違う視点でアドバイスをもらい、アクティビティに対する理解が深まった。
- ・シーケンスを組むことで、指導の際に必要な視点を獲得することができた。発表が対話形式だったので、参加者全員でブラッシュアップしている雰囲気よかった。

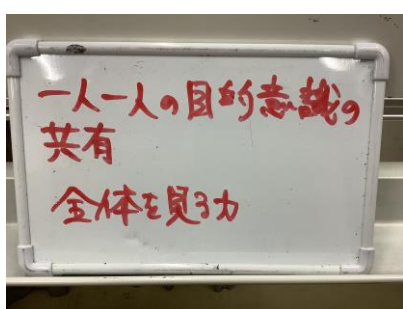
### 【成果】

- ・参加者はセッション①から④で「体験者」として講習会に参加することでグループがチームとして変容していく様子を実際に体験することができた。また、セッション①から④を行うことでセッション⑤から⑥の理論編をチームとして学んでいく準備ができた。
- ・実際にTAPを行っている本所職員全員が運営スタッフとしてかかわることで、TAPの指導に関する情報を再度共有し、職員の資質向上につながった。

### 【課題】

- ・今回は体験したこと、学んだことをもとにアクティビティのシーケンスを組むところまで行うことができたが、参加者同士で作成したシーケンスの一部を指導しあうプログラムを組むとより実践的な講習会になると思った。

## セッション③



セッション③ではアクティビティを通してグループでのコミュニケーションについて考える時間になりました。